



# Bonjour 向け Cisco DNA サービス ソリューションの概要

- [Bonjour 向け Cisco DNA サービス ソリューションについて \(1 ページ\)](#)
- [ソリューションのコンポーネント \(3 ページ\)](#)
- [サポートされるプラットフォーム \(3 ページ\)](#)
- [サポートされるネットワーク設計 \(5 ページ\)](#)

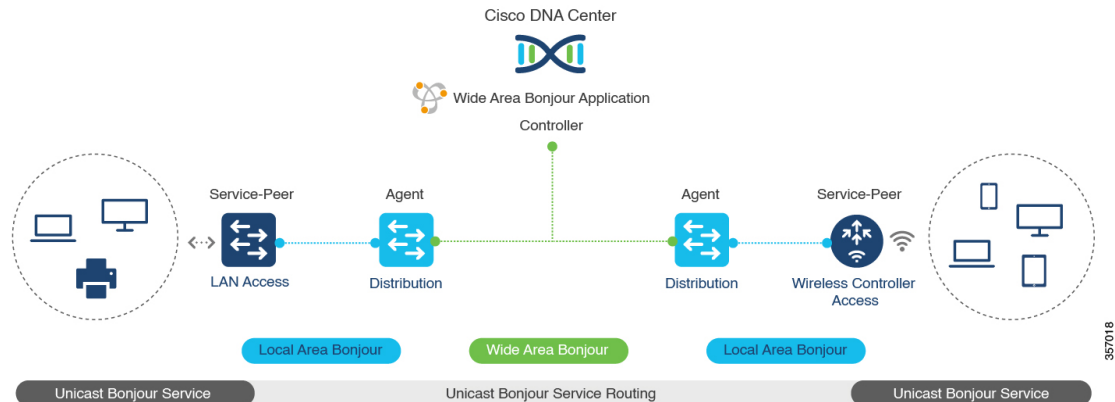
## Bonjour 向け Cisco DNA サービス ソリューションについて

Apple Bonjour プロトコルは、豊富なサービスをシンプルにする設定不要のソリューションです。接続デバイス、サービス、およびアプリケーション間の直感的なエクスペリエンスを実現します。Bonjour を使用すると、最小限の介入と技術知識で、IT 管理、ピアツーピア、オーディオとビデオ、またはモノのインターネット (IoT) サービスを検出して使用できます。Bonjour の当初の設計では、ホームネットワークやブランチネットワークといった単一レイヤ2の中小規模のネットワークを対象にしていました。Bonjour 向け Cisco DNA サービス ソリューションは、単一のレイヤ2 ドメインの制約を排除し、Cisco Software-Defined Access (SD-Access) や VXLAN を備えた業界標準の BGPEVPN といったオーバーレイネットワークを含む、エンタープライズグレードの従来型有線およびワイヤレスネットワークまで対応範囲を拡張します。Cisco Catalyst 9000 シリーズ LAN スイッチ、Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ、および Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラは、業界標準である RFC 6762 ベースのマルチキャスト DNS (mDNS) 仕様に準拠しており、エンタープライズ ネットワーク内の互換性のあるさまざまな消費者向け有線およびワイヤレス製品との相互運用性をサポートします。

Cisco Wide Area Bonjour 上の Cisco DNA Center アプリケーションにより、mDNS サービスルーティングでは、エンタープライズグレードの有線およびワイヤレスネットワークでサービスをアドバタイズおよび検出できます。この新しい分散型アーキテクチャは、mDNS フラッド境界を排除して、ユニキャストベースのサービスルーティングに移行するように設計されており、ポリシー適用ポイントを提供し、Bonjour サービスの管理を可能にします。

次の図は、2つの統合サービスルーティング ドメインにおける Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの動作を示しています。

図 1: Cisco Wide Area Bonjour ソリューションのアーキテクチャ



- ローカルエリアサービス検出ゲートウェイドメイン - ユニキャストモード**：新しい拡張レイヤ2ユニキャストポリシーベースの導入モデル。レイヤ2ユニキャストアドレスを使用した新しい mDNS サービスの検出と配信により、フラッドフリーな LAN およびワイヤレスネットワークが実現します。レイヤ2モードの Cisco Catalyst スイッチおよび Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラでは、ネットワークでの新しいユニキャストベースのサービスルーティングをサポートするために、従来の flood-n-learn に代わる新しいサービスピアロールが導入されます。また、サービスピアスイッチとワイヤレスコントローラは、mDNS flood-n-learn を、RFC 6762 mDNS 互換の有線およびワイヤレスエンドポイントとのユニキャストベースの通信に置き換えます。
- ワイドエリアサービス検出ゲートウェイドメイン**：Wide Area Bonjour ドメインはコントローラベースのソリューションです。Cisco Catalyst および Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチの Bonjour ゲートウェイのロールと役割は、単一の SDG スイッチから SDG エージェントに拡張され、単一の IP ゲートウェイを超えた Wide Area Bonjour サービスルーティングが可能になります。ネットワーク分散型 SDG エージェントデバイスにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを実行する集中型 Cisco DNA Center コントローラとの軽量かつステータフルで信頼性の高い通信チャネルが確立されます。SDG エージェントは、エクスポートポリシーに基づいて、ローカルで検出されたサービスをルーティングします。



- (注) セキュリティとロケーションベースのポリシー適用を強化するため、従来のレイヤ2マルチキャスト flood-n-learn は、特定の制限付きで有線およびワイヤレスネットワークで引き続きサポートされます。レイヤ3境界にある Cisco Catalyst および Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチは、適用されたポリシーに基づいてローカルの有線またはワイヤレス VLAN 間のサービスを検出し配信するための SDG として機能します。

## ソリューションのコンポーネント

Bonjour 向け Cisco DNA サービス ソリューションは、ローカルエリアおよび Wide Area Bonjour ドメイン全体でユニキャストベースのサービスルーティングを可能にする次の主要コンポーネントとシステムロールを含むエンドツーエンドソリューションです。

- **シスコサービスピア**：レイヤ 2 アクセスの Cisco Catalyst スイッチおよびシスコ ワイヤレス コントローラ はサービスピアモードで機能し、ローカル接続エンドポイントとのユニキャストベースの通信をサポートします。また、ディストリビューション層のアップストリーム Cisco Catalyst SDG エージェントにサービス情報をエクスポートします。



(注) Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ は、ダウンストリームのレイヤ 2 アクセス ネットワーク デバイスによるユニキャストベースのサービスルーティングをサポートしていません。

- **Cisco SDG エージェント**：Cisco Catalyst スイッチと Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ は SDG エージェントとして機能し、レイヤ 3 アクセスモードで Bonjour サービスのエンドポイントと通信します。SDG エージェントはディストリビューション層でダウンストリームのシスコサービスピアスイッチやワイヤレスコントローラ、またはレイヤ 2 ネットワークから情報を集約し、中央 Cisco DNA コントローラにその情報をエクスポートします。



(注) Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ はマルチレイヤの LAN ユニキャスト展開モードをサポートしていません。

- **Cisco DNA コントローラ**：Cisco DNA コントローラは、ネットワーク全体に分散された信頼できる SDG エージェントを使用した Wide Area Bonjour ドメインを構築します。セキュアな通信チャネルを使用して、サービス管理の一元化とサービスルーティングの制御を実現します。
- **エンドポイント**：Bonjour エンドポイントは、RFC 6762 に準拠する Bonjour サービスをアドバタイズまたは照会する任意のデバイスです。Bonjour エンドポイントは、LAN または WLAN に配置できます。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、AirPlay、Google Chrome キャスト、AirPrint など、RFC 6762 準拠の Bonjour サービスと統合するように設計されています。

## サポートされるプラットフォーム

サポートされるコントローラとサポートされるハードウェアおよびソフトウェアバージョンを次の表に示します。

表 1: サポートされるコントローラとサポートされるハードウェアおよびソフトウェアバージョン

サポートされるコントローラ	ハードウェア	ソフトウェアバージョン
Cisco DNA Center アプリケーション	DN2-HW-APL DN2-HW-APL-L DN2-HW-APL-XL	Cisco DNA Center、リリース 2.3.2.3
Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション	—	2.4.264.12003

サポートされる SDG エージェントのライセンスとソフトウェア要件を次の表に示します。

表 2: サポートされる SDG エージェントとサポートされるライセンスおよびソフトウェア要件

サポートされるプラットフォーム	サポートされるロール	ローカルエリア SDG	ワイドエリア SDG	最小ソフトウェア
Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチ	SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Unsupported	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9200L シリーズ スイッチ	—	Unsupported	Unsupported	—
Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ	サービスピア SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ	サービスピア SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ	サービスピア SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9500 ハイ パフォーマンス シリーズ スイッチ	サービスピア SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチ	サービスピア SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2

サポートされるプラットフォームフォーム	サポートされるロール	ローカルエリア SDG	ワイドエリア SDG	最小ソフトウェア
Cisco Catalyst 9800 ワイヤレスコントローラ	サービスピア	Cisco DNA Advantage	Unsupported	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Catalyst 9800-L ワイヤレスコントローラ	サービスピア	Cisco DNA Advantage	Unsupported	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2
Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ	SDG エージェント	Cisco DNA Advantage	Cisco DNA Advantage	Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F

## サポートされるネットワーク設計

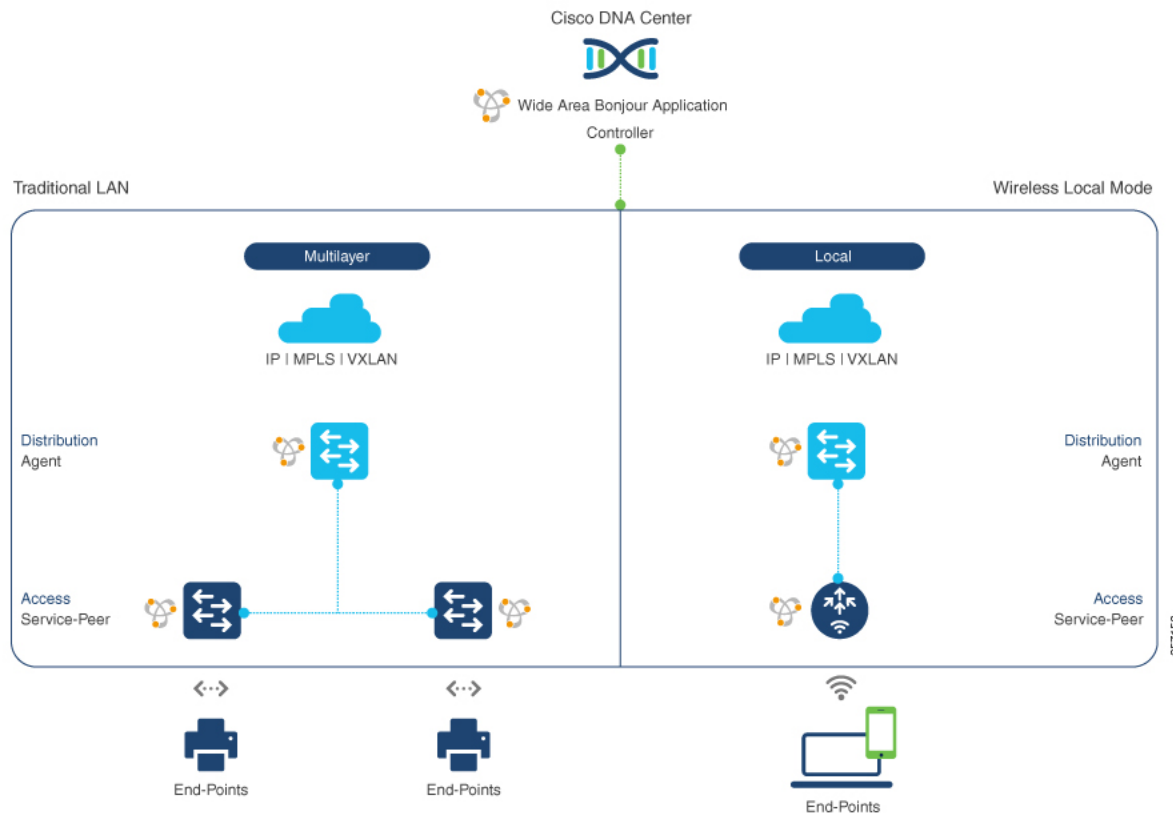
Bonjour 向け Cisco DNA サービスは、幅広いエンタープライズグレードネットワークをサポートします。エンドツーエンドのユニキャストベース Bonjour サービスルーティングは、従来の Cisco SD-Access および BGP EVPN 対応の有線およびワイヤレスネットワークでサポートされます。

## 従来の有線およびワイヤレスネットワーク

従来のネットワークは、エンタープライズネットワークに展開される従来型の有線およびワイヤレスモードのレイヤ2またはレイヤ3です。Bonjour 向け Cisco DNA サービスは、エンドツーエンドのサービスルーティングを可能にする幅広いネットワーク設計をサポートしており、flood-n-learn ベースの導入をユニキャストモードベースのソリューションに置き換えます。

次の図は、一般的に企業で導入されている従来型の LAN と中央スイッチングワイヤレスローカルモードネットワークの設計を示しています。

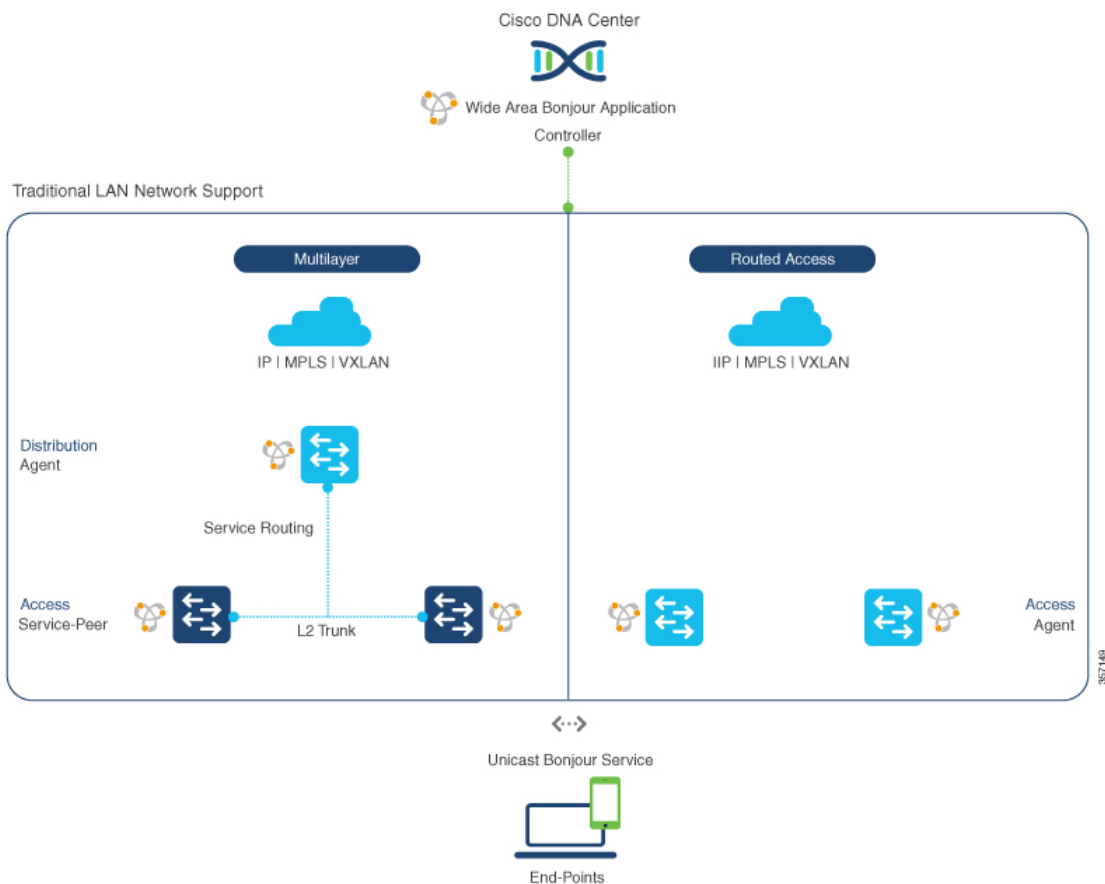
図 2: 企業の従来型 LAN およびワイヤレス ローカル モード ネットワーク の設計



## 有線ネットワーク

次の図は、企業で一般的に導入されている、サポート対象の従来型 LAN ネットワーク設計を示しています。

図 3: エンタープライズ有線マルチレイヤおよびルーテッドアクセス ネットワークの設計



Bonjour ゲートウェイ機能を提供する SDG エージェントロールの Cisco Catalyst や Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチは、一般的に有線エンドポイントの IP ゲートウェイです。マルチレイヤネットワーク設計ではディストリビューション層、レイヤ3ルーテッドアクセスネットワーク設計ではアクセス層に配置されます。

- マルチレイヤ LAN - ユニキャストモード**：この展開モードにおいて、レイヤ2アクセススイッチは、ローカルに接続された有線エンドポイントにファーストホップ mDNS ゲートウェイ機能を提供します。ユニキャストモードでは、mDNS サービスはディストリビューション層のシステムにルーティングされ、IP ゲートウェイと SDG エージェントモードを提供します。SDG エージェント間のポリシーベースのサービスルーティングは、Cisco DNA Center コントローラによって実行されます。
- マルチレイヤ LAN - Flood-n-Learn**：この展開モードでは、レイヤ2アクセススイッチまたはワイヤレスコントローラは、SDG エージェントモードで動作する Cisco Catalyst や Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチを使用した mDNS パススルーモードになります。ネットワークのディストリビューション層の mDNS ゲートウェイ機能は、VLAN 間の mDNS ローカルプロキシを実現します。また、Cisco DNA Center を使用して Wide Area Bonjour ユニキャストサービスルーティングを確立し、単一の IP ゲートウェイを超えて mDNS サービスを検出または配信します。

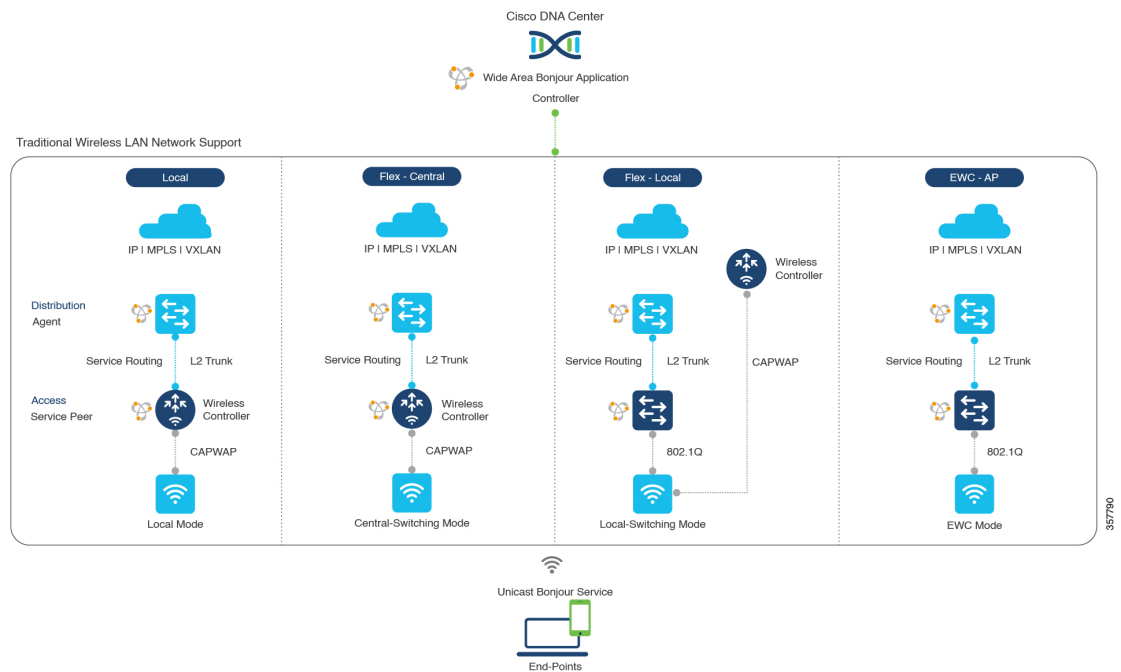
- **ルーテッドアクセス**：この展開モードでは、ファーストホップ Cisco Catalyst または Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチ は IP ゲートウェイ境界であるため、SDG エージェントのロールも実行する必要があります。SDG エージェント間のポリシーベースのサービスルーティングは、Cisco DNA Center コントローラによって実行されます。

## 無線ネットワーク

Bonjour 向け Cisco DNA サービス は、単一の ワイヤレスコントローラ mDNS ゲートウェイ機能を Wide Area Bonjour ソリューションに拡張します。Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ 上の mDNS ゲートウェイは、サービスピアとして拡張モードで展開できます。このモードでは、ワイヤレスコントローラは、エンドツーエンドの mDNS サービス検出のために、アップストリームの Cisco Catalyst ゲートウェイスイッチを使用してユニキャスト サービスルーティングを確立します。有線ネットワークからの従来の flood-n-learn mDNS サービスが、mDNS AP などの方法を使用して置き換えられます。

次の図は、企業で一般的に導入されている、サポート対象の従来型ワイヤレス LAN ネットワーク設計を示しています。mDNS ゲートウェイ機能はワイヤレスネットワークの設計に基づいて、ローカルスイッチングモードでワイヤレスコントローラ またはのアクセスポイントのファーストホップ レイヤ 2 またはレイヤ 3 イーサネットスイッチ上に配置されます。

図 4: 企業の従来型ワイヤレス LAN ネットワークの設計



Bonjour 向け Cisco DNA サービス は、ワイヤレス LAN ネットワークで次のモードをサポートしています。

- **ローカルモード**：中央スイッチングワイヤレス導入モードでは、ローカルモードのシスコ アクセスポイントからの m-DNS トラフィックは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラで終端します。Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラは、



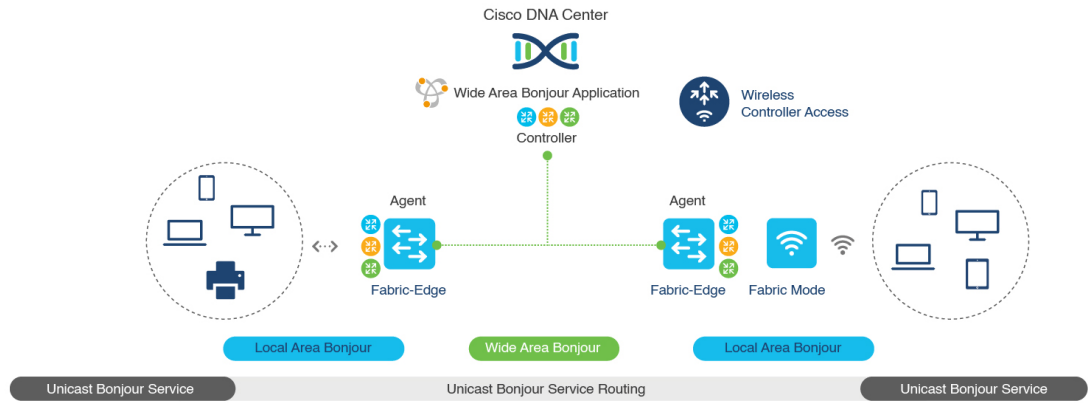
mDNS ゲートウェイ機能を新しいサービスピアモードに拡張します。ワイヤレスコントローラは、サービスを検出してローカルのワイヤレスユーザーに配信し、IP ゲートウェイおよび SDG エージェントとして機能するディストリビューション層のアップストリーム Cisco Catalyst スイッチへのワイヤレス管理インターフェイスを介してユニキャストサービスルーティングを実行できます。

- **FlexConnect - 中央**：FlexConnect 中央スイッチ SSID のシスコアクセスポイントの mDNS ゲートウェイ機能は、「ローカルモード」で説明されているように一貫性があります。シスコワイヤレスコントローラの新しい拡張 mDNS ゲートウェイモードおよび SDG エージェントを使用したアップストリームサービスルーティングは、ポリシーとロケーションに基づいてネットワーク全体でサービスを検出するために一貫して動作します。
- **FlexConnect - ローカル**：FlexConnect ローカルスイッチングモードでは、mDNS ゲートウェイサービスピアモードのレイヤ2アクセススイッチが、ローカル接続した有線やワイヤレスユーザーに対してポリシーベースの mDNS ゲートウェイ機能を提供します。ディストリビューション層の Cisco Catalyst スイッチは SDG エージェントとして機能し、すべてのレイヤ2イーサネットスイッチ間で mDNS サービスルーティングを可能にし、LAN およびワイヤレス LAN ユーザーグループへのユニキャストベースのサービスルーティングをサポートします。
- **組み込みワイヤレスコントローラ - アクセスポイント**：サービスピアモードのレイヤ2アクセススイッチは、Cisco Catalyst 9100 シリーズアクセスポイント上の Cisco Embedded Wireless Controller に関連付けられた有線およびワイヤレスエンドポイントに統合 mDNS ゲートウェイ機能を提供します。ディストリビューション層の SDG エージェントは、mDNS フラッドイングを発生させずに、レイヤ2ネットワークブロック内のすべてのレイヤ2サービスピアスイッチにユニキャストサービスルーティングを提供します。

## Cisco SD-Access 有線およびワイヤレスネットワーク

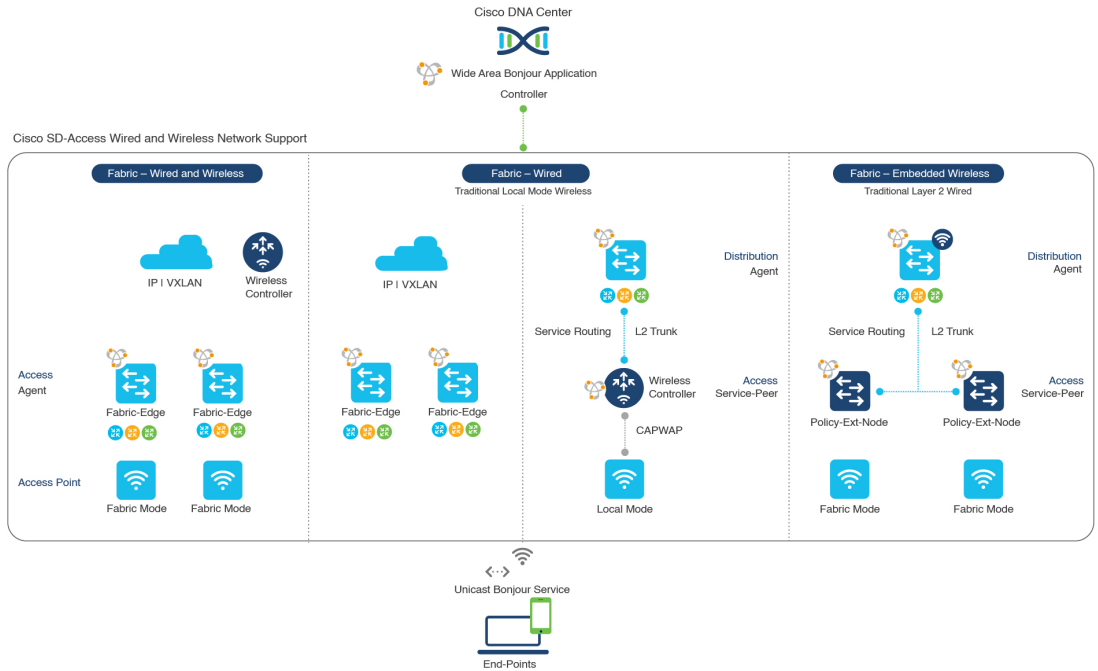
Cisco SD-Access 対応の有線およびワイヤレスネットワークでは、ファブリックネットワーク全体にわたって Bonjour 向け Cisco DNA サービスがサポートされています。Cisco Catalyst 9000 シリーズスイッチは、仮想ネットワークにおける安全でセグメント化された mDNS サービスの検出と配信管理を実現するため、VRF に対応した Wide Area Bonjour サービスルーティングをサポートしています。VRF 対応のユニキャストサービスルーティングにより、レイヤ2のフラッドイング機能を拡張する必要がなくなるため、ファブリックコアネットワークとエンドポイントの拡張性とパフォーマンスが向上します。

図 5: Cisco SD-Access 有線およびワイヤレスネットワークの設計



Cisco SD-Access は柔軟性に優れた有線およびワイヤレスネットワーク設計の代替案をサポートしているため、分散、統合され、下位互換性のある従来のネットワークインフラストラクチャをすべて管理できます。Wide Area Bonjour のサービスルーティング機能はすべてのネットワーク設計でサポートされ、直感的なユーザーエクスペリエンスを提供します。次の図は、SD-Access 対応の有線およびワイヤレスネットワーク設計のさまざまな代替案を示しています。

図 6: Cisco SD-Access 有線およびワイヤレスネットワーク設計の代替案



SD-Access 対応の有線およびファブリックや従来モードのワイヤレスネットワーク向けの Bonjour 向け Cisco DNA サービスは、2 階層のサービスルーティング機能を使用して、エンドツーエンドのユニキャストベースの mDNS ソリューションを提供します。各ソリューションコンポーネントは、ネットワーク設計に基づいて、Wide Area Bonjour ドメインをサポートするために独自の役割を担っています。

- **ファブリックエッジ SDG エージェント** : SDG エージェントとして設定されたアクセス層のレイヤ3 Cisco Catalyst ファブリックエッジスイッチは、ローカルに接続された有線およびワイヤレスエンドポイントにユニキャストベースの mDNS ゲートウェイ機能を提供します。VRF 対応の mDNS サービスポリシーは、仮想ネットワーク環境でネットワークサービスのセキュリティとセグメンテーションを提供します。mDNS サービスは、集中管理型の Cisco DNA Center を介してローカル配信およびルーティングできます。
- **ポリシー拡張ノード** : レイヤ2 Cisco Catalyst アクセスレイヤスイッチは、レイヤ2 ブロードキャストドメイン全体でフラッディングを発生させることのないファーストホップ mDNS ゲートウェイ機能を実現します。ディストリビューション層でのアップストリームファブリックエッジスイッチを使用したユニキャストベースのサービスルーティングにより、同じレイヤ2 ネットワークブロック内で mDNS サービスのルーティングが可能になります。また、集中管理型の Cisco DNA Center からリモートサービスの検出と配布を実行することもできます。
- **シスコ ワイヤレス コントローラ** : シスコ ワイヤレス コントローラ は次のワイヤレス導入モードに応じて独自の機能をサポートし、Cisco SD-Access 対応ネットワークで mDNS サービスのルーティングを可能にします。
  - **ファブリック対応ワイヤレス** : シスコワイヤレスコントローラでは、分散ファブリック対応のワイヤレス導入で、mDNS ゲートウェイ機能を有効にする必要はありません。
  - **ローカルモードワイヤレス** : シスコワイヤレスコントローラは中央集中型コントロールおよびデータプレーンの終端を提供するのと同時に、ワイヤレスエンドポイントにサービスピアモードで mDNS ゲートウェイを提供します。ワイヤレスコントローラは、ローカルに関連付けられたワイヤレスクライアント間に mDNS ゲートウェイを提供します。ワイヤレスコントローラはアップストリーム SDG エージェント Catalyst スイッチを使用してサービスルーティングを構築し、ワイヤレスエンドポイントに IP ゲートウェイとサービスルーティング機能を提供します。
  - **組み込みワイヤレスコントローラ (スイッチ)** : Cisco Embedded Wireless Controller ソリューションは、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ内で軽量の統合型 ワイヤレスコントローラ 機能を実現します。ディストリビューション層の Cisco Catalyst スイッチは、有線およびワイヤレスエンドポイントに対する SDG エージェントとして機能します。ディストリビューション層の SDG エージェントは、mDNS フラッディングを発生させずに、すべてのワイヤレスアクセスポイントおよびレイヤ2 サービスピアスイッチにユニキャスト サービスルーティングを提供します。
- **Cisco DNA Center コントローラ** : Cisco DNA Center 上の Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、ネットワーク全体に分散するファブリックエッジスイッチ間でのポリシーおよびロケーションベースサービスの検出と配信を SDG エージェントモードでサポートします。

SDG エージェントとコントローラ間の Wide Area Bonjour 通信は、ネットワークアンダーレイを介して実行されます。SDG エージェントは、ポリシーに基づき、ファブリックアンダーレイを介して、エンドポイントのアナウンスやクエリを Cisco DNA Center に転送します。エンドポ

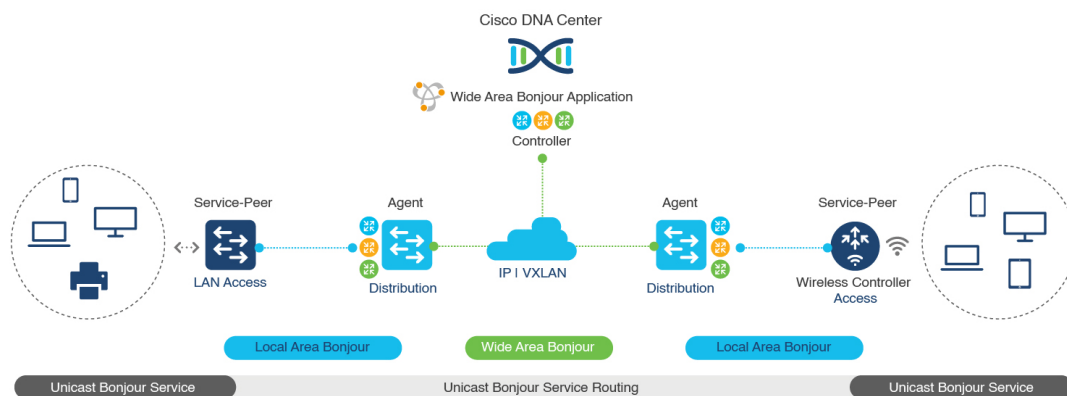
イントはサービスを検出した後、同じ仮想ネットワーク内のファブリックオーバーレイを介して直接ユニキャスト通信を確立できます。仮想ネットワーク間のユニキャスト通信は、フュージョンルータまたは外部ファイアウォールシステムを介して行われます。この通信は、オーバーレイ IP ルーティングポリシーおよびセキュリティグループタグ (SGT) ポリシーに従います。

## BGP EVPN ネットワーク

BGP EVPN ベースのテクノロジーは、柔軟性のあるレイヤ3セグメンテーションおよびレイヤ2拡張オーバーレイネットワークを実現します。VRF および EVPN VXLAN 対応の Wide Area Bonjour サービスルーティングは、安全でセグメント化された mDNS サービスソリューションを提供します。オーバーレイネットワークは、EVPN 対応のレイヤ2拡張ネットワーク上の mDNS フラディングを排除し、ファブリック内のレイヤ3でセグメント化されたルーテッドネットワークのサービス到達可能性に関する問題を解決します。

次の図は、ディストリビューションモードの BGP EVPN リーフスイッチを示しています。このスイッチは、さまざまなタイプのレイヤ2ネットワークおよびレイヤ3セグメント化 VRF 認識ネットワークを介して相互接続される BGP EVPN 対応の従来型レイヤ2有線アクセススイッチおよび従来型ワイヤレスローカルモードのエンタープライズネットワークに対するオーバーレイ Bonjour サービスルーティングをサポートします。

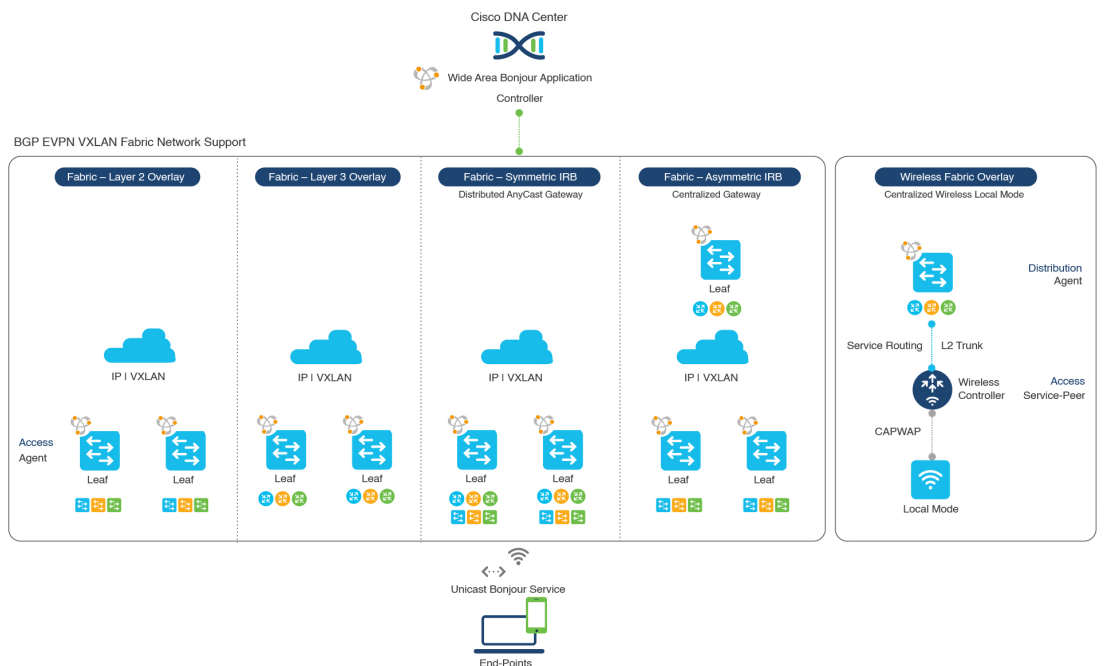
図 7: BGP EVPN 対応エンタープライズネットワークのオーバーレイ Bonjour サービス



Bonjour 向け Cisco DNA サービスは、業界標準のオーバーレイネットワーク設計をすべてサポートしており、エンドツーエンドのユニキャストベースの mDNS サービスルーティングを可能にします。また、有線およびワイヤレスネットワーク全体でフラディングとサービス境界の制限を防ぎます。

次の図は、さまざまな BGP EVPN VXLAN リファレンス オーバーレイ ネットワーク設計の代替案を示しています。このネットワーク設計により、オーバーレイ ネットワーク ポリシーに基づいたエンドツーエンドの mDNS サービスの検出と配信が可能になります。

図 8: BGP EVPN VXLAN 有線およびワイヤレス設計の代替案



Cisco Catalyst および Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチは、幅広いオーバーレイネットワークの mDNS サービスルーティングをサポートするレイヤ 2 またはレイヤ 3 リーフロールに導入できます。どのロールでも、mDNS 通信はローカルに制限され、Wide Area Bonjour ドメイン全体でエンドツーエンドのユニキャストベースのサービスルーティングをサポートします。

- レイヤ 2 リーフ SDG エージェント** : Cisco Catalyst または Cisco Nexus スイッチは、BGP EVPN VXLAN ファブリックネットワーク内またはそれを超えて、IP ゲートウェイを備えたエンドツーエンドのブリッジネットワークをサポートするレイヤ 2 リーフとして展開できます。デフォルトでは、mDNS はファブリック対応のコアネットワーク上でブロードキャスト、不明なユニキャスト、マルチキャスト (BUM) としてフラッディングされます。この mDNS フラッディングは、ネットワークのパフォーマンスとセキュリティに影響を与える可能性があります。SDG エージェントとして設定されているレイヤ 2 リーフは、VXLAN 上の mDNS フラッディングを防ぎ、ユニキャストベースのサービスルーティングをサポートします。
- レイヤ 3 リーフ SDG エージェント** : Cisco Catalyst または Cisco Nexus スイッチは、BGP EVPN VXLAN ファブリック内でレイヤ 3 オーバーレイネットワークをサポートする SDG エージェントとして展開できます。IP ゲートウェイと mDNS サービスの境界は SDG エージェントスイッチで終端し、リモートサービスは集中管理型の Cisco DNA Center によって検出または配信できます。
- ローカルモードワイヤレス** : 集中管理型のワイヤレス ローカル モード ネットワークは、EVPN VXLAN ファブリックドメインの内部または外部で終端するため、ネットワークのセグメント化とワイヤレスエンドポイントのサービス検出を保持できます。サービスピアモードの Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラは、ディストリビューション層の IP および SDG エージェントの Cisco Catalyst スイッチを使用してユニキャストサー

ビス ルーティングを確立し、BGP EVPN VXLAN ファブリック オーバーレイ ネットワークからサービスを検出します。

- **Cisco DNA Center** : Cisco DNA Center はレイヤ 2 またはレイヤ 3 仮想ネットワーク ID (VNID) ポリシーに基づいて mDNS サービスを動的に検出および配信し、ネットワーク内の SDG エージェントスイッチ間で mDNS サービスをルーティングする Wide Area Bonjour 機能をサポートします。

BGP EVPN ネットワークの詳細については、『[Bonjour 向け Cisco DNA サービス Configuration Guide、Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x \(Catalyst 9600 Switches\)](#)』を参照してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。